

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

1156

小中学校科学作品等各種作品展開催事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	3	生涯を通じた豊かな心と健やかな体の育成
施策	1	豊かな心を育む教育の推進
取組方針	3	文化芸術教育の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	教育総務費		
	目	教育振興費		
	大事業	教育振興事業		
	中事業	小中学校科学作品等各種作品展開催事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市教育振興基本計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	学校教育課	東 康修 435-1139
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	児童生徒が参加する作品展の活動を支援し、各教科教育の振興を図る。		各種作品展等を通じ、教育の成果を保護者等に公開することにより、児童生徒の学習意欲を高める。			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		・児童生徒の美術作品の展示 ・児童生徒の音楽活動の成果発表 ・児童生徒の科学作品の展示 ・児童生徒の読書感想文コンクールの開催 ・児童の家庭科作品の展示 ・児童生徒の書道作品の展示	・児童生徒の美術作品の展示 ・児童生徒の音楽活動の成果発表 ・児童生徒の科学作品の展示 ・児童生徒の読書感想文コンクールの開催 ・児童の家庭科作品の展示 ・児童生徒の書道作品の展示	優れた作品を展示・公開・発表し、優秀作品には表彰状を贈呈した。	優れた作品を展示・公開・発表し、優秀作品には表彰状を贈呈する。	優れた作品を展示・公開・発表し、優秀作品には表彰状を贈呈する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,048	773	835	671	767	642	769	0	769	0
伸び率(%)	0%	△9.4%	△20.3%	△13.2%	△8.1%	△4.3%	0.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,736	3,895	3,669	3,829	4,236	4,156	4,316	0	4,316
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3,736	3,895	3,669	3,829	4,236	4,156	4,316	0	4,316
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	1,048	773	835	671	767	642	769	0	769	0
所要人数(人)	正規職員	0.47	0.49	0.46	0.48	0.53	0.52	0.54	0.00	0.54
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	印刷製本費 117千円、会場その他借上料 643千円等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	作品展開催回数(各作品展)	回	目標値	8	8	7	8	8
			実績値	8	7	7		
			達成度(%)	100%	87.5%	100%	0%	%
成果指標	作品展参加学校(園)数(延べ数)	校	目標値	501	499	498	498	498
			実績値	501	484	498		
			達成度(%)	100%	97%	100%	0%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	子供の学習成果を発表する場として、継続したい。
見直し・改善内容	より多くの学校に参加を促すとともに、優れた作品をモデルとして示すよう各研究会に依頼する。